

神の国

知っておきたいキリスト教のことば (41)

「神の国」とは一体何でしょうか。「国」と聞くと、日本やアメリカ、中国といった具合に、領土を持ったある範囲のことを思い浮かべるかもしれません。しかし聖書に出てくる「国」という言葉は、「支配」という意味が強い言葉です。したがって「神の国」というと、神さまが支配される場所という意味を持ちます。



イエス様は神の国について、宣べ伝えました。またたとえ話をういて、神の国を語りました。からし種やパン種、またぶどう園の労働者のたとえなどを用いて、イエス様は神の国とは何かを伝えようとされました。

神の国はどこにあるのでしょうか。イエス様はその活動の初めに、「神の国は近づいた」(マルコ 1:15) と言われました。神さまによる支配が、この世にやってきたのです。

そしてイエス様はこうも言われます。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ」(ルカ 17:20~21) と。

完全な神の国の到来は、イエス様の再臨を待たなければいけないのかもしれませんが。しかしイエス様がこの世に来られたことによって、神の国はすでに来ているのです。神さまと人間とが正しい関係になるために、神さまはイエス様をこの世に遣わされました。そしてイエス様のご生涯、十字架による死、そして復活によって、神の国はわたしたちの間にもたらされたのです。

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」(マタイ 6:33)。神さまの愛の支配が、わたしたちを包み込んでくださいますように。お互いがお互いを本当に大切にしたい世界が、一日も早く実現しますように、祈り続けてまいりましょう。

次回は「神の子」です。お楽しみに。